

# マニフェスト（平成 25 年度実施分）の外部評価結果について

平成 26 年 11 月 13 日

問い合わせ先 総合政策課

TEL 0985-23-2115

都城市においては、平成 24 年 11 月に市長に就任された池田市長のもと、市長が掲げる 7 つのマニフェストを踏まえた総合計画・予算に基づき、各部局において、各種事業に取り組んでおります。市では、市長のマニフェストに記載された施策に係る各部局の取り組みの達成度について、評価の透明性及び客観性を向上させることを目的に、行政の外からの視点により、外部評価を実施しており、今回は、平成 25 年度の取り組みに対する外部評価結果をまとめ、公表するものです。

## 1 都城市マニフェスト評価委員会について

市長マニフェストの達成度の評価に当たって、第三者からの視点を確保し、評価の透明性及び客観性を向上させることを目的に設置しています。

## 2 委員について

昨年と同様に委員長が都城工業高等専門学校の前田教授、副委員長がみやぎん経済研究所の長池常務理事、委員が宮崎公立大学の有馬教授の 3 名で、評価をしていただきました。

## 3 委員名簿

	氏名	学校・会社名等	役職
委員長	前田 英介	都城工業高等専門学校	教授
副委員長	長池 國裕	(財)みやぎん経済研究所	常務理事
委員	有馬 晋作	宮崎公立大学	教授

## 4 評価結果について

委員会において、マニフェストに記載された項目の平成 25 年度の具体的な事業について、4 回のヒアリングと 1 回の協議を踏まえた評価結果は以下のとおりです。委員 3 名の評価の平均点は、78.14 点であり、前年度の評価（前市長分）77.40 点と比較し、0.74 ポイント上昇しております。

	マニフェスト項目（大分類）	平均点数
I	安心安全なまちづくり	76.25
II	農林畜産業支援	76.83
III	地場産業支援	79.54
IV	人創りのための教育支援	77.33
V	スポーツ・文化活動支援	75.25
VI	医療・福祉・子育て支援	80.56
VII	行財政改革	82.00
VIII	新たな取り組み	77.33
	総合評価	78.14

各項目（大項目）についての委員の意見の一部を以下に掲載いたします。

### 【安心安全なまちづくり】

#### 〈新燃岳噴火対策〉

訓練は必要性の高い分団を重点的に行い、備蓄も着実に行っている。ただ、いつまた災害は起こる

か分からないので、前倒しで備蓄し目標を早めに達成する必要性も感じる。

#### 〈地域防災体制の充実〉

消防車など適切な更新時期をもって整備され、そのほかにも計画的に整備されている。

#### 〈都城・志布志道路の早期全線開通に向けた取組み〉

都城志布志道路が、「経済の道」、「防災の道」、「医療の道」として期待される効果を発揮できるように、取組みを積極化されている。

### 【農林畜産業支援】

#### 〈6次産業化の推進〉

全体的に、着実な取組みを進めていると評価している。更なる「販路拡大」や「食と観光の連携」などが課題であるとの認識であるが、産学官（金）の連携強化や宮崎県のフードビジネス構想とのリンクを図りながら、より効果的な事業実施の取組みを期待したい。

#### 〈農林畜産業の後継者育成〉

いずれの事業も、当市の産業基盤の維持、発展には重要である。事業の進捗状況は、概ね良好と言えるが、後継者問題は依然として解決されたわけではない。引き続き努力を継続して頂きたい。

#### 〈食料供給基地都城のさらなる拡大〉

個別事業の取組み、また、技術面の取組みは当然のこととは言え評価出来るものと思料する。今後は、「食」と「観光」のより一層の連携強化を図り、県外へのアピールをより強化していく必要がある。

### 【地場産業支援】

#### 〈産・学・官の知恵と力の結集〉

県工業会や県産業支援財団等、更なる産学官の連携強化を図っていく余地があるものと思われる。

#### 〈地場産業の育成・活性化〉

“道の駅”は、まず、地域および周辺地域住民の利用を増やす工夫が必要ではないか。

#### 〈活性化に向けた民間の取組み支援〉

市街地の活性化、空き店舗対策は全国的な課題となっている。今後、中核施設の整備に関連させて、さらに工夫と努力を続けて頂きたい。

#### 〈中心市街地の活性化〉

コンパクトシティ構想や都市機能の集約化という視点で、中心市街地の交流拠点としての機能強化、自主事業等の充実を図られながら、賑わいの創出に努められたい。

#### 〈雇用ゾーンの整備〉

他自治体と比較して手厚い補助金制度等が奏功し、企業誘致・立地促進事業については順調に前進している。雇用をはじめとした経済効果も税収効果も大きく、更なる進展を期待したい。

#### 〈スポーツ・文化活動合宿の誘致〉

冬場でも戸外は比較的暖かく、晴れの日も多い当市は、屋外スポーツの冬季合宿に適している。プロのチームが来れば、メディアも取り上げ、当市のPRになる。子どもたち夢を与えることもできる。

#### 〈都城の認知度アップ〉

成果指標を達し、進捗が認められる。市のHPの定期的な見直しと改善を継続して頂きたい。

### 【人創りのための教育支援】

#### 〈子供たちの郷土愛の醸成と人間力の向上〉

どの事業についても基本的な考え方、方向性、具体的な取組みとしては大いに評価できるものと考えられる。しかしながら、事業の方向性と教育現場での実態に若干のギャップが生じているケースも見られる。

#### 〈公民館を中心とした地域活動との連携〉

「まちづくり協議会」については、「行政ができない事、行政では時間がかかる事 etc. を地域が実施する」という基本的な考え方のもとで、「地域で考え、地域で予算の執行管理を行う」という理想形に近づきつつある。

### 【スポーツ・文化活動支援】

#### 〈スポーツ・文化活動の支援〉

2020年東京オリンピックに向けてアスリート養成に世間の関心が集まっている。この機会に、本市のスポーツに関する事業を、市民がスポーツに、より親しめるよう活用して頂きたい。

### 〈図書館の図書の充実〉

成果指標による達成度評価と事後評価採点に大きなギャップが生じている。司書を中心とする NPO 法人への委託方式、職員数の削減効果等々、根本的な議論も必要であると考え。

## 【医療・福祉・子育て支援】

### 〈医療福祉の更なる充実〉

事後評価に記載の通り、都城救急医療センターの運営については、三股町、曾於市、志布志市の利用協定自治体で行っているが、経費の増大や医療従事者不足等の問題もあり、より広域的な取り組みが必要になってきている。

### 〈子育て世帯に対する支援〉

子育て支援に関して、今後も重要とされる事業が多く、一定の成果をあげている。ここで挙げられた事業以外で、近年注目されている「子どもの貧困化」に関しても、当市の状況の把握と対策を早急に進めて頂きたい。

## 【行財政改革】

### 〈市民サービスの維持・向上〉

行政協力員をはじめ、電子入札も計画的に実施され、収納率も改善されるなど一定の成果が出ている。

### 〈市職員の削減〉

市職員にとってはたいへん厳しい事業であるが、計画は着実に実施されていると言える。26年度は、削減目標数が例年よりやや多いこともあり、多忙化による業務への影響にも十分注意して進めて頂きたい。

### 〈効率的な予算編成システム・健全な財政運営の確立〉

現時点で適正な財政運営をされているが、より長期的な財政シュミレーションの必要性も感じる。

## 【新たな取組み】

### 〈マニフェストプラス $\alpha$ の新たな取組み〉

地域活性化事業は、一過性でなく、将来に向けて連続性が期待できる活動や提案を取り入れていただきたい。

問い合わせ先 総合政策課 Tel 0985-23-2115